

戦国時代の「斎藤道三」のイメージです。

下剋上で周りが敵の時代を生きた道三なので、隙がなく  
厳しいイメージから表側を紺色にし、持ち手は、刀をイメージ  
して銀色にしました。持ち手の素材はたたみのへりて、和を  
強調しました。

ボタンは、刀のつばの銀、金華山の緑、長良川の青を表  
し、不要な服のボタンを活用しています。アクセサリーのチェ  
ーンは武器、タッセルは采配、黒い球は道三が僧侶の時に  
持っていた数珠を表しています。

名前を何度も変えた道三の様に、このアクセサリーも付  
け方を自由に変えて、カバンの変化を楽しめます。カバンの  
内側は道三に守られた濃姫のイメージです。優しさの桃、花  
言葉が気高さの桜模様を組み合わせました。